

# 『大上地区社協』ニュース



■No.106

■平成30年3月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 今井和治

## ふれあいの家『ひなまつり』を今年も開催

毎年恒例となった、ふれあいのかの“ひなまつり”は3月4(日)・5(月)・6(火)の3日間にわたって開催されました。飾られた人形は、段飾りの他にケース入りや、ミニひな人形、木目込み人形など全部で101体です。地域の方々の来場は初日の日曜日は81名、月曜日30名、火曜日71名合わせて182名となりました。3日目の火曜喫茶店の日には近くの保育園児が引率されて来館し、伝統のひなまつりを楽しんでいました。



ひな飾りを見ながら談笑する来館の皆さん



小さなひな人形



興味深く見入っている園児たち

## ウォーキングと老人施設見学会を実施

3月14日に老人施設見学が行われました。これは大上地区社協の高齢者部会が目指している“元気な高齢者づくり”の一環として計画されたものです。

当日は集合時間の8時半に風車公園に21人の参加者が集まりました。準備体操をして出発。目久尻川沿いに歩き、城山小道から早川城山にある老人福祉施設『道志会』に到着。館内を見学、昼食の後、隣の有料老人ホーム『ヴィラ城山』を見学しゴールの綾瀬市役所に向かいました。晴天に恵まれウォーキング日和の中、「話が弾んですぐに市役所に着いてしまった」という声も聞かれ、みなさん楽しく4キロを完歩されました。



スタート前の準備体操



道志会で記念写真に収まる参加者(上)

寺尾の報恩寺で河津桜を見ながら休憩(左)

\* 4月22日(日) 10時~12時 大上自治会館ホールで平成30年度大上地区社会福祉協議会総会が開催されます。会員の皆さんは、繰り合わせご出席くださるようお願い致します。